

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 1 区分
 【発行日】平成24年12月27日 (2012.12.27)

【公表番号】特表2012-509833(P2012-509833A)
 【公表日】平成24年4月26日 (2012.4.26)
 【年通号数】公開・登録公報2012-017
 【出願番号】特願2011-537866(P2011-537866)
 【国際特許分類】

C 0 5 C 9/00 (2006.01)

B 0 1 D 53/58 (2006.01)

B 0 1 D 47/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 5 C 9/00 Z A B A

B 0 1 D 53/34 1 3 1

B 0 1 D 47/06 Z

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成24年11月5日 (2012.11.5)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 2 7
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【 0 0 2 7 】

以下において、例を使って本発明をより詳細に説明する。図 1 は、装置の第一のシーケンスを形成する、流動床を備えた尿素造粒機 1、造粒機スクラバーダスト段 2、及び造粒機スクラバー酸段 3、及び生成物冷却機 5、及び装置の第二のシーケンスを形成する生成物冷却スクラバーダスト段 4、蒸発ユニット 6、凝縮機ユニット 7、及び主なプロセスの流れを備えた、尿素造粒機のブロック図を示している。該尿素造粒機は、流動床を具えた造粒機又はその他の造粒機の代わりのドラム式造粒機であることができ、これは新鮮な空気を使用するものである。

【誤訳訂正 2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 3 6
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【 0 0 3 6 】

【表 1】

	従来技術 (Brochure Urea, 2007)	アンモニア転化 技術 (Potthoff, 2008)	本発明の技術
蒸発セクションからの遊離アンモニウム	≈ 500 ～ 600 重量 p p m		
ビウレット形成からのアンモニア	≈ 90 重量 p p m		
造粒機入口における全遊離アンモニア	≈ 590 ～ 690 重量 p p m		
最終生成物中の遊離アンモニア	≈ 50 重量 p p m		
放出される遊離アンモニア（尿素溶液に基づく）	≈ 540 ～ 640 重量 p p m		
組み合わせられたスタック中の典型的なアンモニア濃度	$\approx 130 \sim 160 \text{ mg} / \text{Nm}^3$ $\cong 0.6 \sim 0.7 \text{ kg} / 1 \text{ トン 生成物}$	$\approx 30 \text{ mg} / \text{Nm}^3$ $\cong 0.14 \text{ kg} / 1 \text{ トン 生成物}$	$\approx 10 \text{ mg} / \text{Nm}^3$ $\cong 0.05 \text{ kg} / 1 \text{ トン 生成物}$